



TOPICS

▼10月より『データ利用会員サービス』を開始

G空間センターは、無償・有償データの集約・管理を進めていますが、データの流通やデータプロバイダとデータ利用者の交流を促進するために、『データ利用会員サービス(有償)』を10月より開始しました。

データ利用会員は、通常は購入しないと利用できない有料のデータやサービスの一部を試用することができます。プロポーザルの企画提案書作成時やアプリ開発時に、コストを抑えながらG空間データを活用いただけます※1。現在、8団体※2のデータやサービスが利用でき、今後も拡充を進めます。

プロポや開発の「お助けデータパッケージ」です。ぜひ会員利用申込みをご検討下さい。

- ▶ **利用料：30万円/年(1年間)(税込)**
- ▶ **申込方法：G空間センターのHP上部「データ利用会員」のメニューからアクセス**

①ナビタイムジャパン(道路プロファイナ)



②バイオニア(災害時通行実績)



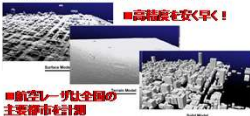
③ゼンリンデータコム(混雑統計レポート)



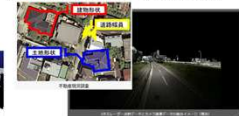
④Agoop(ポイント型流動人口)



⑤朝日航洋(GOOD-3D他)



⑥国際航業(空中写真、MMS他)



⑦アジア航測(リアル3D都市モデル)



※1:プロポ特定後やアプリリリース時はデータ購入願います。
 ※2:2018年10月現在。(株)ナビタイムジャパン、バイオニア(株)、(株)ゼンリンデータコム、(株)Agoop、朝日航洋(株)、国際航業(株)、アジア航測(株)、AIGID

アクセス状況

▶ アクセス数

- ✓ 登録ユーザー数：4,006名(11/1現在)
- ✓ 期間アクセス数：268,198件
(9/1-10/31)

▶ 登録データ (11/1現在)

- ✓ 登録組織数：264組織
- ✓ データセット数：2,892セット
- ✓ ファイル数：29,683ファイル

上位アクセスデータ

集計期間：2018年9月1日～10月31日

1. 通行止め情報/道路情報提供システム(四国地方整備局)(国土交通省 道路局)
2. 平成30年北海道胆振東部地震 通行実績マップ/2018年9月6日通行実績マップ(AIGID)
3. 東京駅周辺屋内地図オープンデータ/東京駅周辺屋内地図オープンデータ(全体版)(国土交通省 政策統括官)
4. 通行止め情報/道路情報提供システム(近畿地方整備局)(国土交通省 道路局)
5. リアル3D都市モデル/サンプル画像(品川)(アジア航測株式会社)
6. 東京駅周辺屋内地図オープンデータ/サンプル画像(国土交通省 政策統括官)
7. 通行止め情報/道路情報提供システム(九州地方整備局)(国土交通省 道路局)
8. (3)工学的基盤(Vs=700m/s相当層)における長周期地震動波形_12_千葉県/利用規約(内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」及び「首都直下地震モデル検討会」の両検討会)
9. 東京駅周辺屋内地図オープンデータ/利用規約(国土交通省 政策統括官)
10. 将来人口・世帯予測ツールV2(H27国調対応版)/利用規約(国土交通省 国土技術政策総合研究所)

お知らせ

- ▶ 2018.11.09【重要】断面交通量データに計測地点の位置情報を付加したデータ提供APIサービスの提供を開始しました!
- ▶ 2018.10.19【イベントご案内】G空間情報センターユーザー会(11/15 G空間EXPOにて)開催のお知らせ
- ▶ 2018.10.03【データが掲載されました】Coaido株式会社が開発した「緊急情報共有アプリ Coaido119」に、G空間情報センターに登録されているAED(提供:AIGID)が掲載されました。
- ▶ 2018.09.18【イベントご案内】徹底!G空間データマスタークラス in 福岡 10/9,10開催
- ▶ 2018.09.18【公開】G空間情報センターニュースレター(2018年9月)を公開しました。

データ公開情報

- ▶ 2018.11.08【公開】歩行空間ネットワークデータ(東京駅周辺、新宿駅周辺)
- ▶ 2018.10.23【公開】地質図、火山地質図(提供:国立研究開発法人 産業技術総合研究所)
- ▶ 2018.10.09【公開】松江駅構内人流センサデータ、2018年9月分(提供:AIGID)
- ▶ 2018.09.20【公開】東京都耐震診断結果データを公開(提供:AIGID)
- ▶ 2018.09.10【公開】松江駅構内人流センサデータ、2018年8月分を公開(提供:AIGID)

お問い合わせ

G空間情報センター

Website <https://www.geospatial.jp>
 E-Mail info@geospatial.jp

コンテンツ紹介

Pick UP !! 断面交通量データ (位置情報付) 提供API AIGID

G空間情報センターでは、全国4万か所の5分間隔の断面交通量データ提供用のAPIサービスの提供を開始致していましたが、さらなるデータ利用環境の充実とデータ流通の強化を図るために、新たに計測地点の位置情報を付加した断面交通量データ提供用のAPIサービスを開始致しました。

G空間情報センター トップページより、キーワード「API」で検索してご覧ください。

■仕様

利用方法：ピンポイント指定、範囲指定
データ形式：json形式、csv形式から選択
ファイル構成：5分毎のデータ(1時間分)

■価格

150,000円/3ヶ月、300,000円/12ヶ月

■提供範囲

2018年7月以降の全国のデータ取得が可能



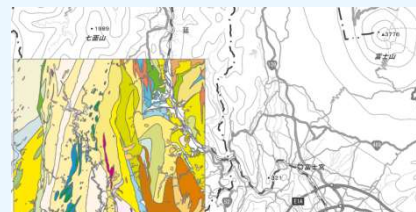
*サンプルイメージです

注目の新規登録データ 産総研地質図等

国立研究開発法人産業技術総合研究所が研究所のサーバで公開している地質等のベクトルデータ (Shapefile と kml) を、G空間情報センターからワンストップでダウンロードできるようになりました。

kmlファイルはプレビューで着色表示され、ダウンロードしなくても確認できます。

<https://www.geospatial.jp/ckan/organization/aist>



G空間情報センター活用Q&A

Q) 自治体所属の関係担当者です。オープンデータの登録方法を教えてください。

A) 登録方法は、ご自身で入力される方法と、G空間情報センターに委託する方法と2パターンあります。

■ご自身で登録される場合 *事前にセンターのユーザ登録 (無料) をお願いします。

- ① ご所属の組織登録 … トップページ>マイページ>組織作成申請よりご申請ください。
- ② データ登録作業 … 編集権限取得後、トップページ>データセットより作業を行います。

最新のデータ登録マニュアルをご希望の方は、トップページ>お問合せより、「データ登録マニュアル希望」とご連絡ください。

■G空間情報センターに作業委託する場合 (有料：10万円～)

- ① ユーザ登録、ご所属の組織申請までご対応お願いします。
- ② 登録ご希望データ量を元に、お見積(無料)をさせていただきます。
- ③ ご発注確定後に作業開始となります。

お見積をご希望の方は、トップページ>お問合せより、「データ登録委託・見積希望」とご連絡ください。

センター運営担当者レポート

- ①11月15日 (木) ~17日 (土) の3日間、東京・お台場の日本科学未来館において、G空間Expo2018が開催され、G空間情報センターの展示を行っております。リアルな世界で、G空間情報センターの取り組みについて説明させていただきますので、ぜひG空間Expo2018に足をお運びいただき、G空間情報センター展示ブースにお立ち寄りいただきますようお願いいたします。
- ②119番通報をしながら周囲にSOSを発信できる緊急情報共有アプリ「Coaido119」で、G空間情報センターに登録されているAEDデータが活用されています。このほかにも、G空間情報センターに登録されているデータの活用事例が増えています。こういうデータがあると便利だからG空間情報センターで取り扱ってほしい!というご要望がありましたら、ぜひG空間情報センターのお問い合わせフォームを通じてご連絡ください。社会に役立つデータをこれからも提供していきたいと思っております。
- ③これまでのダウンロードによるデータ提供に加え、APIでのデータ提供サービスを開始しました。これからも、新しいサービスの開発やデータの登録を続け、社会に貢献していきます。(事務局担当)